

速さは、どこから始まるか 文章A

年 組 番 名前 _____

実力を伸ばすクラス 偏差値のめやす 50～60程度 高2～高3

この紙のゴール：同じ話題の2つの文章を読み、2人が「速さ」を別の区間で測っていることを見つけて、対立点を1文で言えるようにする / 目安25分（本文＋設問）。本文はこの教材のための書き下ろし（初見用）です。

- [1] Trains exist to move people, so the measure of a train is how long the journey takes. If a train reaches the city in forty minutes instead of sixty, that is twenty minutes returned to every passenger, every morning, for as long as the line exists.
- [2] There is one well-known way to make a train faster: stop less often. Every stop costs time. The train slows down, the doors open, it waits for the last person, and it starts again. Most of the people on board are not getting off there. A stop serves a few and delays the rest.
- [3] Faster trains also carry more people on the same track. Each train finishes its trip sooner and comes back sooner, so the same cars make more journeys in a day. Speed is not only comfort. It is capacity, and capacity is bought without laying a single new rail.
- [4] Some say that skipping stations is unfair to the people who live near them. But those stations are not closed. The local train still stops there; the express simply passes through. Nobody loses a station, and many people gain time.
- [5] Others say that people will move further out and spend the saved minutes travelling anyway. Perhaps some will. But that is a choice made with time they did not have before, and a faster line widens the area in which a person is able to live.
- [6] So the rule is simple. Look at the timetable, remove the stops that few people use, and give the minutes back.

〔語注〕 capacity=運べる量 express=急行 rail=レール・線路

本文には自由に書き込んでください。つなぎの語（But / Yet / however）に印をつけ、段落の左に「認める／切り返す／例／主張／提案」とメモすると、大問Iがそのまま解けます。

速さは、どこから始まるか 文章B

年 組 番 名前 _____

文章Aと同じ話題について、Aを読んだ別の書き手が書いたものです。Aのどこに反対しているかを探しながら読みましょう。

[1] The argument above measures the journey from the first platform to the last. That is not where a journey begins or ends.

[2] A passenger's time starts at the front door. If the express does not stop at the nearest station, the twenty minutes saved on the train are spent before boarding, in walking further, waiting for a bus, or driving to a station that has parking. The timetable is faster. The morning is not.

[3] Nor does the small station stay as it was. There is only one track, and when the fast trains take it, the slow ones are pushed into the gaps between them. The wait on the small platform grows, and it grows for the people who were told they had lost nothing. The station is still open. It is only further away in time.

[4] Speed is worth having, and the writer above is right that lost minutes do not come back. But the number on the timetable is not the number a passenger lives with, and a line that keeps improving the first number can quietly make the second one worse.

〔語注〕 platform = (駅の) ホーム quietly = 気づかれないうちに

Aと同じところに線、ちがうところに波線を引きながら読むと、対立点を答える設問がそのまま解けます。



速さは、どこから始まるか 設問

年 組 番 名前 _____

文章A・B（前の紙）を見ながら答えてかまいません。

大問1 **それぞれの主張** AとBの筆者が、いちばん言いたいことを日本語で書こう（各20字以内）。

(1) 文章Aの筆者の主張 **思考・判断・表現**

4点

(2) 文章Bの筆者の主張 **思考・判断・表現**

4点

大問2 **対立点** 2人の意見が分かれている場所について答えよう。

(1) AとBは、速さに価値があるという点では一致している。では、どこで分かれているか。40字以内の日本語で書きなさい。 **思考・判断・表現**

6点

(2) Bの[3]段落は、Aのどの段落に対する答えか。段落番号で答え、その理由を20字以内で書きなさい。

思考・判断・表現

5点

大問3 **読み取り** 本文の内容に即して答えよう。

(1) Aの[5]段落で、筆者は反対意見をどう扱っているか。 **思考・判断・表現** 答え（ ）

3点

ア 反対意見を事実と違うとして退けている

イ 反対意見の起こりうることは認めたうえで、それを損ではなく選択だと言い換えている

ウ 反対意見を紹介したうえで、そのまま受け入れている

エ 反対意見にはふれずに、自分の主張をくり返している

(2) Bの[3]段落 it grows for the people who were told they had lost nothing の who were told の内容にあたるのは、Aのどの一文か。 **知識・技能** 答え（ ）

3点

ア Speed is not only comfort.

イ A stop serves a few and delays the rest.

ウ Nobody loses a station, and many people gain time.

エ Look at the timetable, remove the stops that few people use.

速さは、どこから始まるか（標準） | 解答と採点

解答 選択問題

大問3 読み取り		
(1)	イ	Perhaps some will. でいったん認め、But 以下で「それは前になかった時間で行う選択だ」と、損を選択に置きかえている。
(2)	ウ	「何も失っていないと言われた人たち」=Aの Nobody loses a station。Bはその一文を引き受けて、待ち時間という形で失っていると返している。

記述の採点 模範解答と部分点の刻み

刻みは答案を見る前に配点を決めておくための表です。採点しながら基準を作ると、最初の10枚と最後の10枚で線が動きます。

大問1(1) 文章Aの筆者の主張 4点

停車駅を減らして所要時間を縮めるべきだ (19字)

配点	その点を与える条件
2点	「停車駅を減らす・急行を増やす」が入っている
2点	「時間が短くなる・時間が返ってくる」が入っている

大問1(2) 文章Bの筆者の主張 4点

速さは家から目的地までで測るべきだ (17字)

配点	その点を与える条件
2点	「家から・玄関から」など、乗る前の時間を含めることが入っている
2点	それが「速さの測り方」の話になっている

「急行に反対」とだけ書いた答案は0点。Bは[4]で速さの価値も、失った時間が戻らないことも認めている。

大問2(1) AとBは、速さに価値があるという点では一致している。では、どこで分かれているか。40字以内の日本語で書きなさい。 6点

速さを、駅から駅までで測るか、家から目的地までで測るかという点。(31字)

配点	その点を与える条件
3点	Aの区間（ホームからホーム・電車に乗っている時間）が書けている
3点	Bの区間（玄関から目的地・乗る前の時間を含む）が書けている

「Bは急行に反対している」は0点（立場の要約であって対立点ではない）。「Bは乗る前の時間も考えるべきだと言う」は3点—Bの主張だが、Aと並べた形になっていない。

大問2(2) Bの[3]段落は、Aのどの段落に対する答えか。段落番号で答え、その理由を20字以内で書きなさい。 5点

[4]／各駅停車の間隔が開いて遠くなるから (19字)

配点	その点を与える条件
2点	段落番号が [4] を指している
3点	理由が「駅は開いていても待ち時間が伸びる＝時間の上で遠くなる」の意味になっている

速さは、どこから始まるか（標準） | 出題のねらい

出題のねらい 定期テストに移すときの観点マップ

この2人は、事実の食い違いで争っていません。争点はどこからどこまでを「移動」と呼ぶかだけです。Aは最初のホームから最後のホームまでを測り、Bは玄関から目的地までを測る。同じ「速くなった」という語が、別の区間を指しています。答案でいちばん多いのは「Aは急行に賛成、Bは反対」―立場の要約であって、対立点の特定ではありません。ものさしの違いに手が届いた生徒は、Bの[3]（各駅停車が押しのけられて待ち時間が伸びる）がAの[4]（駅は閉まっていない）への正面からの答えになっていることまで読めます。

型	観点	テストでの使い方
それぞれの主張（記述）	思考・判断・表現	2つの文章の主張を1文にたたむ。3版共通の骨格で、ここが書けないと以降が全部崩れる
対立点の特定	思考・判断・表現	段3の芯。基礎は選択、標準・発展は記述。「賛成か反対か」ではなく、ものさしの違いに届いているか
論の運びの読み取り	思考・判断・表現	Aの譲歩→切り返しの型と、Bのどの段落がAのどの反論に答えているかの対応づけ
語句の意味・下線部和訳	知識・技能	基礎・標準は文脈からの推測、発展は和訳（省略された語句を補えるか）
自分の考えを書く（英語）	思考・判断・表現	発展版のみ。両方にふれて50語。読み比べを表現につなぐ出口

大問I（それぞれの主張を1文で）は3版とも同じ問いです。配り分けでも、ここだけは同じ力を測っています。

3つの版の使い分け

論題と対立の中身は3版共通で、変えているのは英文の長さで答え方です（基礎＝主張を選ぶ／標準＝日本語で書く／発展＝日本語の記述に英語の意見を1問足す）。同じクラスで配り分けでも、答案は同じ観点で並べて読めます。